

## 受講申込要項

### 1 受講料 ※料金は一人あたり

会員区分	【早割】 (2020年1月31日(金)まで)	【通常価格】
日本能率協会・ETIC会員	180,000円(税別)	210,000円(税別)
会員外	200,000円(税別)	230,000円(税別)

#### 【受講料に含まれるもの】

- テキスト・資料費
- 見学料(各施設のガイド・担当者)
- 宿泊費(ツインルーム/朝食・夕食付き)
- 現地での移動費(見学先への移動、最寄駅の大原駅までの送迎)

### 2 申込方法

下記ホームページよりお申し込みください。

<http://www.jma.or.jp/kaikalab/>  
E-mail: kaikalab@jma.or.jp

- ①お電話での予約も承ります。決定したいホームページからお申し込みください。
- ②申込を受理したのち、随時、請求書等をお送りいたします。
- ③定員に達した場合、または開催内容が大幅に変更する場合は別途ご連絡いたします。
- ④詳細はホームページ内、各コースの案内をご覧ください。

### 3 各種送付物・受講料のお支払いについて

- 請求書は原則として、「申込責任者」宛に、開催日の約1か月前に送付いたします。事前資料がある場合は、随時お送りいたします。
- 受講料は、請求書記載の支払期限までに指定口座までお振込みください。
- 振込手数料は貴社にてご負担くださいますようお願いいたします。お支払い方法等につきご希望がございましたら、お問い合わせください。

### 4 受講申込後の取り消し(キャンセル規定)

お申込み後、受講者の都合にてキャンセルされる場合、下記のとおりキャンセル料を申し受けますのでご了承ください。  
なお、キャンセルのお申し入れは、必ずFAX(03-3434-6330)またはメール(kaikalab@jma.or.jp)にてご連絡ください。

開催30日前～8日前(開催日含まず起算)	受講料の10%
開催7日前～前日(開催日含まず起算)	受講料の50%
開催日当日	受講料の全額

※会員とは、一般社団法人日本能率協会の法人会員ならびに特定非営利活動法人エティック(ETIC.)の会員を指します。  
※本事業開催時の消費税率を適用させていただきます。

#### 【受講料に含まれないもの】

- 西粟倉村までの往復交通費
- 個人旅行保険料
- シングルルームチャージ(ご利用の場合)6000円/泊

### 5 催行中止・免責事項

コースの申込が10名に満たない場合、催行を中止させていただくことがあります。また、天災地変、研修会場・運送・宿泊等の機関のサービス停止、官公庁の命令、当初の予定によらないサービスの提供その他小会の管理できない事由により研修内容の一部変更または中止のために生じた損害については、小会は責任を負いません。

### 6 個人情報の取扱いについて

一般社団法人日本能率協会では、個人情報の保護に努めております。詳細は、小会ホームページにての個人情報保護方針をご覧ください。  
(<http://www.jma.or.jp/privacy/>)。なお当コースの予約票および申込書にご記入いただきましたお客様の個人情報は、本催し物に関する確認・連絡・実施および小会主催の関連催し物のご案内送付等に使用させていただきます。

### 7 公開研修における機密保持について

公開研修では、事前課題やグループディスカッション等において、自社の状況を書いたり話したりする場合がございます。この場合、受講者の判断により、一般に開示できる範囲でご対応のほどお願いいたします。

### 8 注意事項

- 教育研修団体、経営コンサルタント、教育インストラクターの方のお申込みは、お断りする場合がございます。
- テキストは会場でお渡しします。受講者以外の方にはテキストはお分けいたしません。
- 録音、録画、撮影はご遠慮ください。

## 企画協力団体



団体名称：特定非営利活動法人エティック(ETIC.)  
Entrepreneurial Training for Innovative Communities.  
代表理事：宮城治男 設立：1993年  
所在地：東京都渋谷区 法人化：2000年3月

1993年、学生起業家の全国ネットワーク組織として活動開始。一貫して自ら社会に働きかけ、価値を生み出していく起業家型リーダーの育成に取り組み、約1500名の起業家を輩出。2004年から、「地域の起業力」を高め、活力ある日本を作る挑戦を支援する「チャレンジコミュニティ創成プロジェクト」(経済産業省委託)や、地方創生の先進10自治体が連携した「ローカルベンチャー協議会」(2016年～)の事務局を務める。また、こうした事業を通して培われたネットワークや知見を活かし、企業と連携した社会価値創造志向の人材育成やオープンイノベーション推進にも取り組んでいる。

未開拓領域を花開かせる

KAIIKA



JMAでは、企業が新たな価値を生み出し、持続的成長を実現するための経営の考え方として「KAIIKA(開花・開化)」を提唱しています。個人の成長、組織の活性化、組織の社会性を同時実現することにより、個人と組織の能力が「KAIIKA」し、価値が生み出されるという考えです。本プログラムは、社会を起点として考え、組織の壁を超えて協働することを通じて、個人と組織の「KAIIKA」を支援します。

プログラム内容のお問合せ先

JMA 経営革新を推進する  
一般社団法人日本能率協会 KAIIKA研究所

〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22  
TEL 03(3434)0380  
E-mail: kaikalab@jma.or.jp

お申し込みはこちら

<http://www.jma.or.jp/kaikalab/>

KAIIKAイノベーション 検索

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

未開拓領域を花開かせる

KAIIKA

KAIIKAイノベーションラボ 第2弾

地方創生のトップランナー西粟倉村に学ぶ

# SDGs時代の事業創出

次世代イノベーター育成プログラム



林業の再生から、起業支援、うなぎの養殖まで、次々と挑戦が生まれる人口1500人の村。全国から注目を集める地方創生の成功事例を視察する。

日程 2020年3月11日(水)～13日(金)

視察先 岡山県西粟倉村 定員24名

JMA 経営革新を推進する  
一般社団法人日本能率協会



# 2050年には日本の人口は約1億人を切ると予想されています。

少子高齢化社会である日本の人口構造は大きく変化をし、経済市場の縮小や、マーケットの変化、労働人口減少により求められる新しい働き方など、企業に大きな影響を与えます。

このような不確実性の高い社会の中で生き残るためには、どのように向き合っていく必要があるのでしょうか。

岡山県西粟倉村は既に、このような社会課題に向き合い、トップランナーとして挑戦を生き続けています。

ここでは、民間企業が強力なリーダーシップを発揮し、行政と協力しながら、林業の再生を中心にバイオマスボイラーの活用、建築・不動産業、雇用創出、起業支援など、新しい発想で持続可能な事業・地域づくりを実践しています。

西粟倉村からの学びは、高齢者マーケットの変化・国内市場縮小への向き合い方や、SDGs起点のビジネス創造についてはもちろん、国内で事業を進める手がかりになります。

社会課題の現場に飛び込み、取り組みや熱量を体全体で感じることで、新たな事業創造の一步を確信に繋がります。



## 西粟倉と地方創生



西粟倉村は岡山県の最北東端、兵庫県・鳥取県と境を接する山間にあります。2004年の平成の大合併を拒み、自立の道を歩むことを決めました。面積の約93%を山林が占め、高齢化率約40%、人口1,500人ほどのこの小さな村では、地域に拠点を置くベンチャー企業、通称「ローカルベンチャー」が次々に生まれ、注目を集めています。2004年から30社の企業が創業。村で生まれた事業の総売上は15億円にも上っています。さらに雇用は117人、移住者は100人以上も増えており、いずれも驚くべき数字です。

- ・「コンビニない山村 スタートアップの聖地に」(2019年10月17日掲載、日経新聞掲載)
- ・総務省 平成30年度ふるさとづくり大賞 優秀賞 (2019年)
- ・SDGs未来都市に選定 (2019年)
- ・安部総理スピーチで地方創生の事例として取り上げ (2019年)
- ・環境モデル都市に選定 (2013年)

## 対象層

- ◆経営企画部門や事業企画部門で新規事業開発を担当している方
- ◆少子高齢化によるマーケットの変化に対応するビジネスを考えている方
- ◆地域のリソースを活用した持続可能なビジネスを考えている方
- ◆SDGsや社会課題と企業の取り組みやビジネスについて興味のある方 など

## 主な講師陣

 <p>株式会社西粟倉・森の学校 エーゼロ株式会社 代表取締役 <b>牧 大介 氏</b></p>	<p>京都大学大学院卒業後、民間のシンクタンク等で林業・山村に関わる新規事業を手掛けてきた。2009年に岡山県西粟倉村にて(株)西粟倉・森の学校、2015年にエーゼロ(株)を設立。村役場と共に独自の移住起業支援も行っている。</p>
 <p>NPO法人ETIC. 事業統括ディレクター <b>山内 幸治 氏</b></p>	<p>早稲田大学在学中に、NPO法人ETIC.の事業化に参画。国内初の実践型インターンシップの事業化や、その地域展開に取り組む。その後、社会起業家育成のアクセラレーションプログラムやローカルベンチャー協議会の設立など、各県庁・企業・自治体等と連携して、社会や地域課題に取り組む担い手を育て環境整備を進めている。</p>

## これまでにETIC.の西粟倉村視察プログラムに参加された企業の声

私は世の中のことを知っていると思い込んでいたのですが、研修の現場で見聞したことは知らないばかり、刺激が多すぎて頭の中が真っ白になりました。西粟倉村訪問後、どうやって社会価値を生み出せばよいかについてお客様と議論する機会が増え、あるいはお客様と一緒に新サービスを創造する実証実験をスタートしました。(大手ICTメーカー 幹部候補)

企業活動は、目先の利益だけを追い求めている、変化の激しい時代の中では生き残れないことは明確です。そのような中、社会課題解決やSDGsについて東京の会議室で考えていても何も生まれず誤った方向に進んでしまうことがほとんどです。まずは、社会課題の現場を見るべきだと思います。西粟倉村は実践者が多くいるので、今後の在り方を考えるヒントになると思います。(大手ゼネコン まちづくり部 担当)

## プログラム概要(予定) 2020年3月11日(水) 13:30集合~3月13日(金) 15:00終了予定

**集合・解散場所** 大原駅(智頭急行) 大阪駅~岡山県大原駅まで電車で約1時間50分  
**視察先** 岡山県西粟倉村  
**宿泊** ご宿泊先「国民宿舎・あわくら荘」※村内の宿泊施設が限られているため、基本的にはツインルームでのご宿泊になります。  
**定員** 24名

## プログラム詳細

開催日・開催場所	テーマ	内容
<b>1日目:3月11日(水)</b>		
オリエンテーション	◆イントロダクション ◆自己紹介	
エーゼロ株式会社 企業訪問/講演	◆人口減少と過疎化が進む地域での 持続可能なビジネス創造 	西粟倉村で地域づくり/事業づくりを行なっておりキーパーソンでもある牧大介氏の講演。人口減少が進む地域で見出すビジネスの可能性や、人・地域・森を活かした地方創生の事業創造について学ぶ。  スピーカー: 株式会社西粟倉・森の学校/エーゼロ株式会社 代表取締役 牧 大介氏 
村役場職員 レクチャー	◆地方創生のトップランナー 官民連携の仕組み	西粟倉村のビジョン、取組み、起業支援、SDGs、サステナブルな事業事例等について紹介。行政と民間が協働して取り組む地域づくりの仕組みや政策、人々の暮らしとは? スピーカー:西粟倉村役場産業観光課 担当者
夕食・懇親会	◆地域の方を交えた懇親会	地域の皆さんと話を交わしながら、交流を深める。
<b>2日目:3月12日(木)</b>		
西粟倉・森の学校 (製材所)訪問	◆持続可能性とビジネスの両立に挑む、 森林ビジネスの現場訪問 	年商3億円の製材工場。地域の間伐材を有効活用し、タイルカーベットのよう使い勝手のよい個人向け商品として開発した「ユカハリ・タイル」は年間3万枚売れている。木材産業・林業での生き残り方、サステナブルなエネルギー活用、村内の雇用創出、地域再生ビジネスを実施する工夫、裏側を紹介。 
旧影石小学校視察	◆地域資源を有効活用した サステナブルなビジネスモデルの構築 	旧影石小学校は平成11年に廃校となり、今ではローカルベンチャーの事務所やお店、障がい者就労継続支援施設の作業所として、有効活用されている。また、製材工場から出た端材をバイオマスボイラーの燃料として利用し、体育館でサステナブルなうなぎの養殖に取り組んでいる。うなぎは都内の有名店に出荷され、高級品として取引されている。養殖ビジネスを始めた経緯、発想のきっかけ、エネルギーの活用とは?また森のうなぎを美食し、つながりを体感する。 
ローカルベンチャー ヒアリング	◆過疎地での新規ビジネス創出の実際 	西粟倉村はここ10年間で30以上のローカルベンチャー(地域を拠点に置くベンチャー)が生まれている。地域を活性化させる実践者に西粟倉に移住、起業した経緯を聞く。また、行政との連携や、地域のリソースや特徴を活かしたイノベーションの源泉に触れる。 スピーカー:西粟倉村の起業家2名を予定。
<b>3日目:3月13日(金)</b>		
振り返り	◆日本全国に広がる 地域×企業の新規事業の 可能性とダイアログ	西粟倉村と同じように、全国でも地方の高齢化・人口減少に立ち向かう様々な挑戦が実施されている。その中には、地域と企業が連携し、地域課題解決を目指す事業も多く出現してきた。全国の様々な事例を紹介しながら、日本と企業の未来を考え、対話する。 スピーカー:NPO法人ETIC. 事業統括ディレクター 山内 幸治氏
	◆自社内でのアクションプラン検討	西粟倉村のキーパーソンと参加者同士の対話を交えながら、学びを仕事にどう活かすかを考える。
	◆3日間の学びの統合	対話しながら2泊3日の視察プログラム振り返りと、ワークショップ。

※プログラム中の移動はマイクロバス移動となります。  
※視察先は参加者のニーズによって多少変更する場合がございます。